

令和2年3月18日

意見発表

鈴木委員

手短に6点ほど、お話しします。

まず1点目は、質問の最初に申し上げましたが、県教育委員会のみならず、県庁全体で数字や文章、条例に至るまで次々と誤りが出てきています。緊張感のなさと同時に、精神論ではなく、もう一度、県庁のシステムの問題、また職員のマチベーションをしっかりと検証してもらいたいです。

今日、プレスリリースをいただき、令和2年3月10日に高等学校等就学金支援金に係る通知の内容誤りについて出ていました。この誤りの原因の最後に、県教育委員会が委託業者に提供したデータには誤りがなかったことを確認していますと書いてありました。こういう書き方はないのではないのでしょうか。あなた方には問題はなくとも、実際に問題があったということは、一見見てみると、ハードディスクなどの委託や指定管理などというのは、あなた方が人様に責任をなすりつけて、監督しているような県庁になっていないかというような思いがしています。それなら、そもそも業者が出したそのものをもう一度確認して出すべきでしょう。こういうことを平然とプレスリリースで書く神経が、今の県庁のこういう問題を起こす元凶だと思います。

2点目に、ホームページについてですが、早速、新型コロナウイルス感染症に関して大きく書いてくださってありがとうございます。ただ、これからアーカイブも含めた形で、もっと充実をしてほしいです。今回、変えてくださったことで、何人かの方からもホームページが見やすくなりました、情報を確認しましたという声がありました。

したがって、震災やウイルス等々も含めて、どんなことが起こるか分からないので、それについて確実に学校に伝えたいものは、例えば、ホームページに上げるなどというポリシーをしっかりと形で見せていただきたいと思いますので、よろしく願います。

3点目に、Society 5.0について、私も申し上げましたが、5Gの導入をどうするのかはどこも書かれていません。こういう中で、ハード、無線LAN、PCなどというような時代ではないでしょう。いかにこれからAIやデータ、ビッグデータ等々の解析も含めたソフトという部分に早く教育は持っていないと遅れていくという指摘をしました。

特にICT支援員の導入も含めて、クオリティを上げていかないと、インフラはできても、中身は何だという時代の中にあるので、国全体も遅れていると分かっているながらも教育現場が変わらない現状をどうかしっかり新たに変わっていただきたいです。

4点目はオンライン教育について、既にSNSも含めて、学校に行かない生徒に、休館中の水族館の裏側を見せる配信など、いろいろな現場でいろいろな教育がどんどん来ていて、多分、県教育委員会にとっても、今回の新型コロナ

ウイルス感染症によって新たな教育現場のものすごい大変換が起こっていると私は思っています。

そういう意味では、民間等ではオンライン教育等々を無償で行っている中で、公がそこを追いかけているようではしょうがないです。それをもう一度、オンライン教育についてもしっかり見ていただきたいです。

5点目はキャリア教育についてお願いしましたが、仕事のまなび場については一生懸命行ったださるという答弁でした。なおかつ、また令和2年4月に行えるかどうか分からないというお話もありますが、進路フェスタについては、これからのキャリア教育に向けた形で、どうかキャリア教育という観点からも大事にしていきたいです。

最後に、県立特別支援学校における就労支援ということで、現場の要求と県教育委員会とは言わないですが、学校等の間に、そごがあるような気がしてなりません。そういう意味では、もう一度、ホームページをつくっていただけるといふ答弁もありましたが、内容の充実とともに、地域の中小企業の社長等との交流も含めて、特別支援学校の対応をよろしくお願いします。

以上、6点を申し上げて、諸議案に賛成します。最後に、本当に突然に、国から全学校に対して指示がありました。これに対して教育長、教育局長をはじめ、教育委員会の皆様方、また多くの皆様方が今のところ、大過なく、このような形で来ていることに対して、私は心から感謝を申し上げまして、意見発表とします。